

Major structural factors of career orientation for public health nurses working in administrative agencies

メタデータ	言語: eng 出版者: 公開日: 2017-10-06 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: Okura, Mika メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/19487

平成 19 年 2 月 23 日

博士論文審査結果報告書

学位授与番号 医博甲第 1858 号

学籍番号

氏 名 大倉 美佳

論文審査員

主 査 (教授) 城戸 照彦

副 査 (教授) 稲垣 美智子

副 査 (北海道大学教授) 佐伯 和子



論文題名 Major structural factors of career orientation for public health nurses working in administrative agencies

論文審査結果

論文内容の要旨：行政分野で働く保健師(行政保健師)のキャリア志向に関する主要な構成因子を明確にすることを目的とし、先行研究の質的面接結果を基に自作の調査票を作成して調査を行った。I 県と M 県の行政保健師 750 名を対象として郵送による自記式調査を行ったところ、回収数は 465 (回収率 60.4%)、有効回答数は 422 (有効回答率 56.3%)であった。プロマックス回転による主因子分析の結果より、『社会的承認志向』、『地域協働志向』、『リーダー的管理志向』、『安定両立志向』、『奉仕貢献志向』といった 5 因子 18 項目が抽出された。各因子の構成項目 ($\alpha = 0.635 \sim 0.792$) および因子全体の構成 ($\alpha = 0.824$) とともに信頼性は確保された。5 つの行政保健師キャリア志向は、現状における実現可能な選択肢からのみ考えられた顕在的な志向が選定されており、従来からの保健師活動を通じた自らのキャリアを振り返ることはできるが、これから先の社会情勢を見極め、地域住民から期待される保健師のあり方を見つめた将来展望のある志向も含めた内容にしていく必要がある。

審査結果の要旨：公開審査では、本結果の活用目的と方法、行政保健師のキャリア志向の現状、キャリア志向尺度の実用化の必要性と重要性、基本属性別のキャリア志向の特徴についての質問がなされた。医療保険福祉制度の改革や自治体のあり方の変化が著しい変革期だからこそ、求めに応じる姿勢だけでなく、キャリア志向を自覚することが大切であり、自覚を促すツールとしての尺度開発につながる主要な構成因子が明確になった点で価値がある。また、行政保健師を取り巻く現状の課題に合った研究テーマであり、行政保健師のキャリア志向に関する研究が皆無である中ではオリジナリティが高く、意義がある。今後はさらに、行政組織から求められる能力や役割との関係性を明示して、人事考課や適材適所を考える際に現場で活用できる形にしていくことが重要である。質問に対する回答内容として、本研究結果から示すことができる範疇と今後の課題となる範疇とを区別して応答でき、研究者としての見解、態度ともに適切であった。また、プレゼンテーションについても十分に吟味なされた内容であり、高く評価される。

以上、提出された論文および公開審査における知識、態度、見識などを総合し、博士の学位(保健学)を授与するに値するものであると考える。